

Internet Week 2000

---

## ドメイン名の最新動向

2000年12月20日

坪 俊宏  
グローバルコモンズ株式会社  
tsubo @global.ad.jp

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 本日のお話

---

1. ドメイン名の管理体制の変遷
2. gTLD (COM/NET/ORG) の動き
3. ICANN uDRPの動き
4. ccTLDの動き
5. 多言語ドメイン名の動き
6. 新TLDの動き
7. JPドメイン名の動き

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

# 1. ドメイン名の管理体制の変遷

---

1-1. ドメイン名の歴史

1-2. RFC1591

1-3. ICANN体制

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(1)

---

1969年: ARPANETが4ホストで開始

- SRI-NICがホスト名(フラット構造)とアドレスとのマッピングテーブル(HOSTS.TXT)を管理

1983年: ARPANETがTCP/IPを採用

1984年: ドメインネームシステム(DNS)の導入

- この年、ホスト数が1,000を越える
- 日本ではJUNET開始

1986年: NSFNET開始

- 後にインターネットのバックボーンに

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(2)

---

1993年: NSF が InterNIC 業務を3社に委託

- ディレクトリ&データベースサービス(AT&T)
- 登録サービス(Network Solutions Inc.)
- 情報サービス(General Atomics)

1993年: NCSA Mosaicの登場

- WWWの利用が本格化

1995年: NSFNETが研究ネットワークへ

- インターネットの商用化が本格化

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(3)

---

1995年9月14日: NSIがドメイン名登録を有料化

- COM/ORG/NET/EDU/GOVを有料化
- 登録料 US\$100(2年分)、維持料 US\$50
- これを契機に、gTLDの独占問題の議論が活発化

1996年5月: Dr. Postelが複数のTLDレジストリ創設を提案

- 初年度50の新レジストリに最高3つの新TLDを委任

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(4)

---

1996年11月12日 : IAHC (国際臨時特別委員会) 発足

- gTLDに関する問題を解決することが目的

1997年2月4日 : IAHCが最終報告書(勧告)を発表

- IANA、ISOCが中心となりITU、WIPOが参加
- gTLDのポリシー策定の権威としての覚書(gTLD-MoU)
- 7つの新gTLD (firm/shop/web/arts/rec/info/nom)
- レジストリ・レジストラモデル(レジストラによる競争)
- 紛争処理のための異議申立制度

CORE-gTLDは98年3月サービス開始予定だったが、、、

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(5)

---

1998年1月30日 : 米国政府がグリーンペーパー発表

「インターネットの名前及びアドレスの技術  
的管理の改善についての提案」

1998年6月5日 : 米国政府がホワイトペーパー発表

- ドメインネームシステムの大きな部分は、米国政府機  
関との契約に基づいて運営されている
  - (1) IPアドレスの割当 : DARPAがIANAと契約
  - (2) gTLDの登録 : NSIがNSFと契約
  - (3) ルートの運用 : 13のサーバーの半分は米国政府
  - (4) プロトコルレジストリ管理 : DARPAがIANAと契約

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(6)

---

- 新法人を創設し、IANAの機能を移行
  - (1) IPアドレスの割当管理
  - (2) ルートサーバーのポリシー管理
  - (3) gTLD追加のポリシー管理
  - (4) プロトコルパラメータの調整
- 暫定理事会は、TLD追加のポリシー策定
- 暫定理事会は、レジストリ、レジストラの資格要件確立
- NSIが一レジストリとなるための条件について米国政府との合意を求める
- WIPOにドメイン名紛争処理に関する勧告を求める

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-1. ドメイン名の歴史(7)

---

1998年10月：ICANN設立

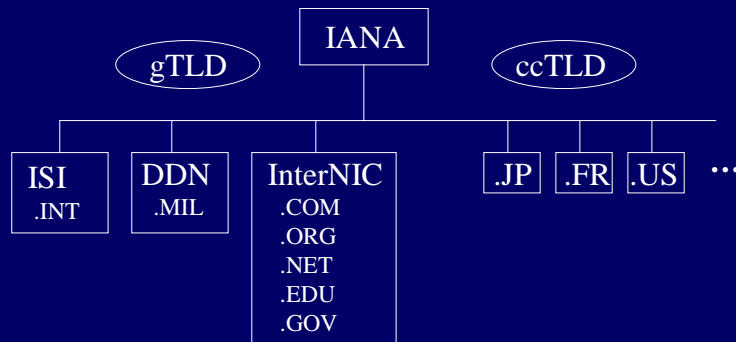
1998年11月25日：米国政府がICANNと契約

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-2. RFC1591

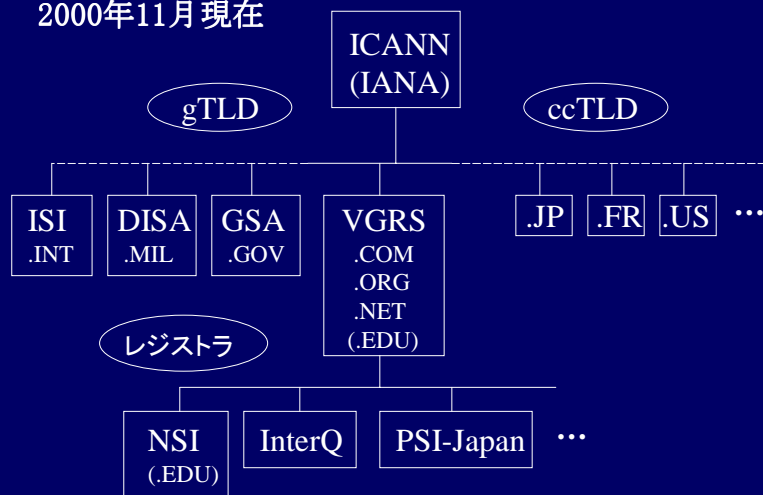
ドメインネームシステムの構造と権限の委任 (1994年3月)



(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 1-3. ICANN体制

2000年11月現在



(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 2. gTLD (COM/NET/ORG) の動き

---

- 2-1. gTLDの登録数
- 2-2. ICANN認定レジストラの動き
- 2-3. ICANN・NSI・米国商務省の契約
- 2-4. gTLDに関するトピックス

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 2-1. gTLDの登録数

---

DOMAINSTATS.COM (<http://www.domainstats.com/>)

2000年11月26日調べ

- 世界の総ドメイン名数: 32,695,901
  - COM : 19,835,506 (60.7%)
  - NET : 3,721,403 (11.4%)
  - ORG : 2,342,826 (7.2%)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 2-2. ICANN認定レジストラの動き

---

2000年11月10日現在

- 認定され運用を開始しているレジストラ(70社)
  - 米国(34社)、イギリス(4社)、韓国(4社)、ドイツ(4社)、中国(3社)、フランス(3社)、カナダ(2社)、スペイン(2社)、日本(2社)、オーストラリア(2社)、クウェート(1社)、スイス(1社)、イタリア(1社)、スウェーデン(1社)、モナコ(1社)、台湾(1社)、ノルウェー(1社)、複数国(3社)
- 認定されているが運用を開始していないレジストラ(70社)
- 認定手続中のレジストラ(12社)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 2-3. ICANN・NSI・米国商務省の契約(1)

---

1999年11月10日

NSI は ICANN を承認

- NSI/ICANNレジストリ合意書
- ICANN/NSIレジストラ移行合意書

NSI は2000年1月15日までにSRSを修正

- 「1年単位」で登録・更新が可能に

NSIとのレジストリ合意書

- 契約期間は4年
- 18ヶ月以内にレジストリ業務とレジストラ業務を分離すれば、さらに4年延長

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo



## 2-3. ICANN・NSI・米国商務省の契約(2)

---

### InterNIC

- 6ヶ月以内に、InterNICのWebサイトおよびドメイン名を米国商務省に移管
- 9か月以内に、NSIはすべての登録用テンプレートを修正し、InterNICという名前の使用を停止

### 権威あるルートサーバーの管理

- NSIは商務省の指示にしたがって、権威あるルートサーバーの管理を継続

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 2-4. gTLDに関するトピックス

---

### トピックス

- NSIがドメイン名の長さを26文字から67文字に(2000年2月26日)
- VeriSignがNSIを買収(2000年3月7日)
- NSI Registryがレジストラに対し多言語ドメイン名テストベッド開始(2000年8月24日)
- NSI RegistryがVeriSign Global Registry Servicesに名称変更(2000年9月14日)
- VGRSがTelcordiaとENUM実験開始(2000年9月26日)
- VGRSが多言語ドメイン名登録開始(2000年11月10日)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3. ICANN uDRPの動き

---

- 3-1. uDRPとは
- 3-2. uDRPに基づく紛争処理の構造
- 3-3. ICANN認定紛争処理機関
- 3-4. uDRPの成立条件
- 3-5. 紛争処理案件の統計
- 3-6. 紛争処理事例
- 3-7. ccTLDとDRP
- 3-8. セカンドWIPOプロセス

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 3-1. uDRPとは(1)

---

#### ドメイン名と商標の間で発生する問題

- 権利者(商標権者)間における争い
- 悪意による不正なドメイン名登録・使用の問題

#### uDRPの特徴は、ミニマルアプローチ

- 不正な登録・使用のみの解決を図る

#### uDRP = uniform Dispute Resolution Policy

- 対象はCOM/NET/ORG
- 1999年10月24日、ICANN理事会が承認
- ICANN認定レジストラはすべてuDRPを採用
- ICANNが紛争処理機関を認定

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 3-1. uDRPとは(2)

#### 既存の紛争処理(裁判・仲裁)に代わる方法

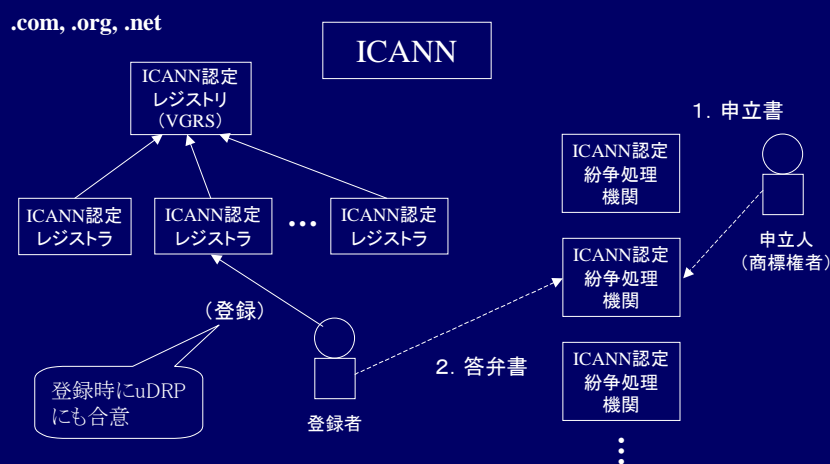
- 低費用(WIPO:1件US\$1,500)
- 短期間(最高55日)
- 簡易(書類ベースで処理)
- 不服の場合は裁判へ

#### 裁定(移転・取消)の実施

- 裁定から10日以内に登録者による提訴がなければDNSに結果を反映

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 3-2. uDRPに基づく紛争処理の構造



(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 3-3. ICANN認定紛争処理機関

---

ICANNはこれまで4つの機関を認定

- World Intellectual Property Organization [WIPO] (1999年12月1日)
- The National Arbitration Forum [NAF] (1999年12月23日)
- eResolution [eRes] (2000年1月1日)
- CPR Institute for Dispute Resolution [CPR] (2000年5月22日)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 3-4. uDRPの成立条件

---

**紛争処理の対象**

- 登録者のドメイン名が申立人の商標と同一・類似
- 登録者はそのドメイン名に正当な権利をもっていない
- そのドメイン名が不正な登録・使用されている

**不正な登録・使用の証明**

- 実費金額を越える対価で転売することを目的に登録
- 商標権者によるドメイン名使用を妨害するために登録し、そのような妨害行為がパターン化しているとき
- ライバル会社の事業を混乱させることを目的に登録
- ユーザーの誤認混同をねらって第三者の商標でドメイン名を登録・使用

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-5. 紛争処理案件の統計(1)

2000年11月22日現在

紛争件数	ドメイン名件数	紛争ステータス
487	1052	Pending
0	0	Suspended for court action
27	37	Suspended, other
514	1089	Total undisposed proceedings
1213	1981	Name transferred
16	19	Name cancelled
1	4	Name(s) cancelled/transferred
319	411	Decision for respondent
11	359	Split decision
1560	2774	Dispositions by decision

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-5. 紛争処理案件の統計(2)

紛争件数	ドメイン名件数	紛争ステータス
6	6	Settlement with transfer
0	0	Settlement without transfer
46	53	Settlement, unspecified result
0	0	Dismissal with prejudice
138	227	Dismissal without prejudice
38	48	Dismissal, unspecified
228	334	Dispositions without decision
2302	4197	Total proceedings (other than those terminated for recommencement)

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-5. 紛争処理案件の統計(3)

---

### 統計の分析

- uDRP による紛争処理手続は、1999年12月1日開始
- 約1年弱の間の申立件数は、2,302件(4,197ドメイン名)
- 裁定が出されたものは、1,560件(2,774ドメイン名)
- 申立人側の勝訴: 1,230件(78.8%)  
2,004ドメイン名(72.2%)
- 登録者側の勝訴: 319件(19.3%)  
411ドメイン名(14.8%)  
(Split decision の件数を除く)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-6. 紛争処理事例

---

### 著名人の名前

- juliaroberts.com
- sting.com
- madonna.com

### 日本企業関係

- bungeishunju.com、bunshun.com
- gameboy.com
- canoncopymachines.com
- jal.com

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-7. ccTLDとDRP

---

### ICANN uDRPを採用したccTLD

- .nu (ニウエ)
- .tv (ツバル)
- .ws (サモア)

### ICANN uDRPをローカライズしたccTLD

- .jp (日本)
- .ca (カナダ)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-8. セカンドWIPOプロセス(1)

---

### セカンド WIPO インターネットドメインネームプロセス

- 2000年6月28日、オーストラリア政府+19か国政府から要請を受ける
- WIPOは、2000年7月10日プロセスを開始

### 今回の検討対象は、以下の不正使用

- 個人名
- 薬品名 (WHO が患者の安全を保護するために推奨している International Nonproprietary Names (INNs) for Pharmaceutical Substances)
- 国際的な政府間機関名 (国連等)
- 地理的表示
- 商号

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 3-8. セカンドWIPOプロセス(2)

---

### 最終報告書

- オンラインおよび世界各地での地域会合を経て、2001年前半に最終報告書が出される予定

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 4. ccTLDの動き

---

- 4-1. ICANNとccTLDとの契約
- 4-2. ccTLDに関するトピックス

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo



## 4-1. ICANNとccTLDとの契約(1)

---

### IANAとccTLDとの関係

- RFC1591に基づくccTLDの委任
- ICP-1による現状の確認
- ICANNとccTLDの間には契約関係はない

### ICANN横浜会議におけるGACの提案

- Principles for Delegation and Administration of ccTLDs (2000年2月23日)
- インターネットの技術管理の民営化の一つのステップは、ICANNとccTLDが安定的で適切な契約を結ぶこと
- ICANNは、各国政府に対して現在のccTLDの委任に満足しているか確認をすること

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 4-1. ICANNとccTLDとの契約(2)

---

### ICANNから各国政府へのレター(草案)

- ICANNがあなたの国のccTLD managerと契約を結ぶにあたり、政府は現在のccTLD managerに満足しているかどうか知りたい
- ICANN-GAC Principlesを実施する意思があるかどうか知りたい
- もし現在のccTLD委任に問題がある場合は、その問題が解決されるまでICANNは契約をしない
- 60日以内にコメントがない場合は現在の委任に当面問題がないものとみなす

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 4-1. ICANNとccTLDとの契約(3)

---

### ccTLD Constituencyの動き

- Best Practice Guidelines for ccTLD Managers
- Re/Delegation Guidelines for ccTLD Managers

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 4-2. ccTLDに関するトピックス

---

### トピックス

- .PNの再委任問題(2000年2月11日)
- .PSの委任問題(2000年3月22日)
- .TVのライセンス料でツバルが国連加盟  
(2000年9月5日)
- .EUの委任に関するICANNの判断(2000年9月25日)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5. 多言語ドメイン名の動き

---

5-1. VGRSの多言語テストベッド

5-2. 日本語.JP

5-3. その他のドメイン名の動き

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-1. VGRSの多言語テストベッド(1)

---

テストベッドの位置づけ

- IETFのInternationalized Domain Name WG (IDN WG)の標準化作業への貢献
- COM/NET/ORGのデータベース管理者として、インターネットをグローバル化していく(利用機会の拡大)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-1. VGRSの多言語テストベッド(2)

---

### 段階的なアプローチ

- フェーズ1: レジストラの準備
  - 参加を希望するレジストラは認定プロセスを受ける  
(稼動レジストラ70社のうち25社が参加)
  - 2000年8月24日～
- フェーズ2: 多言語ドメイン名の登録
  - 非アルファベット(当初は、中国語、日本語、韓国語)を第2レベルに登録
  - 2000年11月10日～
- フェーズ3: 多言語ドメイン名の名前解決
  - DNSによる名前解決でWebへのアクセスが可能に

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-1. VGRSの多言語テストベッド(3)

---

### テストベッドのキーポイント

1. 登録者はテストベッドに参加
  - テストベッドには変更があり得る
  - 技術が標準化されるまでテストベッド期間
2. 多言語ドメイン名の登録
  - 当初は、中国語、日本語、韓国語
  - 登録された多言語ドメイン名は、レジストリのデータベースにRACE という方式で蓄積
  - 多言語ドメイン名の一意性は、Unicodeで行われる

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-1. VGRSの多言語テストベッド(4)

### 3. VGRSは、多言語ドメイン名を先願で受付

- これまでのCOM/NET/ORGの受付と同じ
- 事前登録はなし

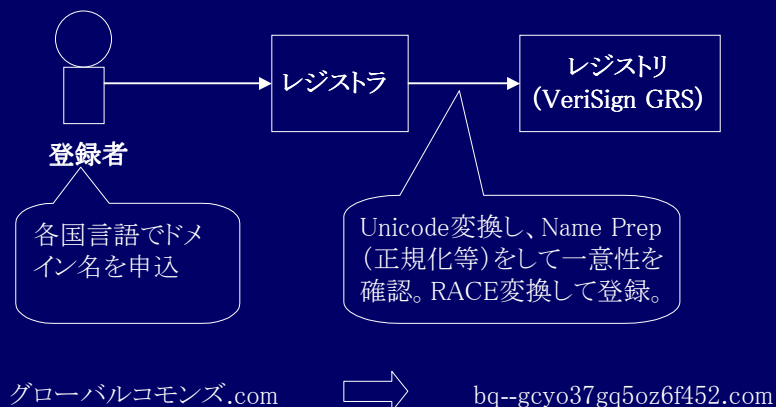
### 4. IETFによる標準化の過程で変更があり得る

- 今回登録されたものが無効となり削除される場合も
  - 不法な文字、すでに存在しない文字など
- VGRSレジストリにおける内部表現が変更される場合も
  - 登録された文字が無効になることはない
  - 再度の支払が発生することはない

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-1. VGRSの多言語テストベッド(5)

### 多言語ドメイン名の登録イメージ



(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-2. 日本語.JP(1)

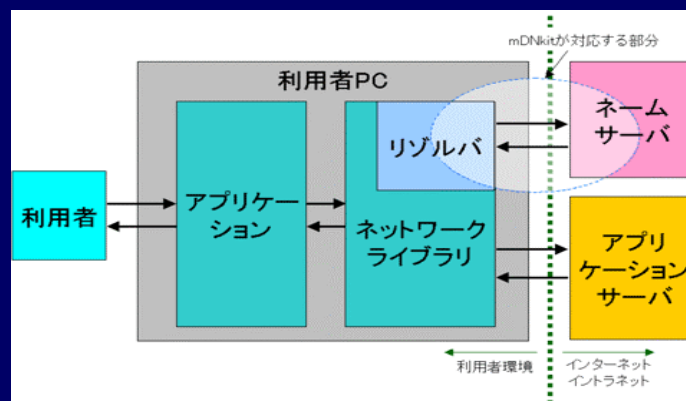
### 実施方針

- IETF IDN WG の方針に従う
- Zero Level Domainは採用しない
- DNSプロトコル上での文字エンコーディングとして ACE (ASCII Compatible Encoding) を採用
- 運用試験期間中の ACE としては、RACE (Row-based ACE) を採用
- 使用可能な文字は、JIS X 0208 で規定された漢字、平仮名、片仮名、一部記号、および ASCII の英数字、ハイフン
- 文字の正規化を行う
- 使用可能文字数は、最大15文字とする

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-2. 日本語.JP(2)

### 利用イメージ



(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-2. 日本語.JP(3)

---

### スケジュール

2000年10月18日	多言語ドメイン名評価キット正式リリース
2000年11月 6日	運用試験(フェーズ1)開始
2001年 2月22日	優先登録申請開始
2001年 4月 2日	同時登録申請開始
2001年 5月 7日	先願登録開始
2001年 5月 7日	運用試験(フェーズ2)開始
2001年 7月上旬	運用正式サービス開始予定 (IETF IDN WG の進行状況に依存する)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 5-2. その他のドメイン名の動き

---

### CNNICの中国語ドメイン名

- .CN、.中国、.公司、.網路

### Internet Oneの日本語ドメインインデックス

- 日本語.JP.IO

### i-dns.net社の日本語ドメイン名

- 。会社、。組織、。ネット

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6. 新TLDの動き

---

- 6-1. ICANN理事会の決議
- 6-2. 新TLD決定のプロセス
- 6-3. 7つの新TLDの特徴

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

### 6-1. ICANN理事会の決議(1)

---

2000年11月16日

- ICANN理事会は、交渉を行う対象として7つのレジストリ運営組織を選出
  - .aero - Societe Internationale de Telecommunications Aeronautiques SC, (SITA)
  - .biz - JVTeam, LLC
  - .coop - National Cooperative Business Association, (NCBA)
  - .info - Afilias, LLC
  - .museum - Museum Domain Management Association, (MDMA)
  - .name - Global Name Registry, LTD
  - .pro - RegistryPro, LTD

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo



## 6-1. ICANN理事会の決議(2)

---

- ICANNスタッフは交渉を開始し、12月31日までに完了予定
- レジストリ合意書は、ICANN理事会に承認される必要がある
- ICANN理事会は、承認の後、その実施に関して米国商務省に勧告

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-2. 新TLD決定のプロセス(1)

---

### 2000年4月19日:新gTLDに関するNCステートメント

- NCはICANN理事会に対して新gTLD導入のポリシー策定を勧告
- 当初は限られた数の新TLDを導入し、十分な評価を行った後で将来の拡張をすること
- 最初の導入では幾つかの種類が考慮されるべき
  - 完全にオープンなTLD
  - 特定目的をもったTLD
  - 非商用のTLD
  - 個人用のTLD
- レジストリレベル、レジストラレベルでの競争促進、など

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-2. 新TLD決定のプロセス(2)

---

### 2000年8月15日 : TLD提案書の評価基準

- (1) インターネットの安定性維持の必要性
- (2) 将来のTLD導入に関する“proof of concept”になるか
- (3) 登録サービスの競争促進
- (4) DNSの利便性の向上
- (5) 過去に満たせなかったニーズを満たしているか
- (6) DNSおよび登録サービスの多様性の促進
- (7) 特定目的TLDが適切な組織にポリシー策定機能を委任しているか
- (8) 他人の権利の適切な保護が考慮されているか
- (9) 提案書の完全さ(現実的な事業計画、財務計画、技術計画、運用計画、および、市場ニーズの健全な分析)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-2. 新TLD決定のプロセス(3)

---

### 2000年9月5日～10月2日 : レジストリ募集

- 47の申込書を受付(内44が有効)
- 11月5日までパブリックコメント期間を設定  
(コメント総数は4,000以上)

### 2000年11月9日 : Report on New TLD Applications

- カテゴリー別に分析と推奨
  1. General-Purpose TLDs
    - a. General Group
    - b. Personal Group
    - c. Restricted Content Group
    - d. Restricted Commercial Group

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-2. 新TLD決定のプロセス(4)

---

2. Special-Purpose TLDs
3. New Services TLDs
  - a. Telephony-Related Group
  - b. Message Routing Group
  - c. Other Group

2000年11月16日: ICANN理事会 (Marina del Rey)

- 公開理事会での6時間に渡る議論

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-3. 7つの新TLDの特徴(1)

---

### .biz

- JVTeam, LLC
- ビジネス用(商用のみで個人用ではない)
- 第2レベルに登録

### .info

- Afilias, LLC
- 汎用目的(ビジネス・個人ともに対象)
- 第2レベルに登録
- サンライズ期間を設定

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-3. 7つの新TLDの特徴(2)

---

### **.name**

- Global Name Registry, LTD
- 個人用
- firstname.familyname.nameという形で登録(第2レベルは共有)

### **.pro**

- RegistryPro, LTD
- プロフェッショナル用
- 第3レベルに登録(.law.pro/.med.pro/.cpa.pro)

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-3. 7つの新TLDの特徴(3)

---

### **.museum**

- Museum Domain Management Association, (MDMA)
- 博物館用
- 第2レベルに登録

### **.aero**

- Societe Internationale de Telecommunications Aeronautiques SC, (SITA)
- 航空運輸に関する企業・組織用
- 第2レベルに登録
- Air Name Policy Groupが受付審査

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 6-3. 7つの新TLDの特徴(4)

---

### .coop

- National Cooperative Business Association (NCBA)
- 生活共同組合用
- 第2レベルに登録

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 7. JPDメイン名の動き

---

7-1. JPDメイン名紛争処理方針 (JP-DRP)

7-2. 汎用JPDメイン名の導入

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 7-1. JPDメイン名紛争処理方針(1)

---

### ICANN uDRPをローカライズ

- 基本的な枠組みはuDRPと同じ
- 申立の根拠を「商標その他表示」に  
(uDRPは「trademarks or service marks」)

### 具体的な効果

- 既存JPDメイン名で移転を自由化
- 汎用JPDメイン名での紛争解決

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 7-1. JPDメイン名紛争処理方針(2)

---

### これまでの流れと現状

2000年7月19日

- 「JPDメイン名紛争処理方針」公開

2000年8月22日

- 工業所有権仲裁センターが認定紛争処理機関に

2000年10月19日

- 「JPDメイン名紛争処理方針」発効
- 工業所有権仲裁センターがサービス開始

2000年11月13日

- 第1号案件 (AXIS.CO.JP) の手続開始

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 7-2. 汎用JPドメイン名の導入(1)

---

### 汎用 JP ドメイン名の主な特徴

- (1) 登録資格要件は問わない  
(個人・組織の種別を問わず登録可)
- (2) 登録数の制限なし(1組織1ドメイン名原則の撤廃)
- (3) 移転制限なし  
(サイバースクワッター対策は移転制限ではなくDRPで)
- (4) ローカルプレゼンス(国内住所要件)
- (5) SLD(セカンドレベルドメイン)への登録: example.jp
- (6) 日本語ドメイン名の導入: 日本語.jp

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo

## 7-2. 汎用JPドメイン名の導入(2)

---

### スケジュール(12月の総会での承認が前提)

2001年 2月22日

- 登録規則 / 登録経過措置実施要綱 施行

2001年 2月22日～ 3月23日

- 優先登録申請期間
  - 第1区分: 既存JPドメイン名登録者
  - 第2区分: 商標、商号、官公庁、AC.JP登録者

2001年 4月 2日～ 4月23日

- 同時登録申請期間

2001年 5月 7日

- 先願による登録申請受付開始

---

(C) Copyright 2000 by Toshihiro Tsubo